

新潟県立長岡聾学校

きこえ通信

<https://nagaokarou.nein.ed.jp/>

当校 HP に
も掲載中!

新潟県立長岡聾学校通級指導教室

〒940-0093 長岡市水道町 2-1-13

Tel 0258-38-0210 (通級指導教室)

メールもご利用ください。

FAX 0258-39-5665

e-mail school@nagaokarou.nein.ed.jp

令和7年度 第5号 発行：令和7年8月

「先輩の話を聞く会」を実施しました!

「先輩の話を聞く会」を実施して4年目になります。難聴のある人は少なく、毎日のきこえや進路などに困ることもあり、それらを経験した先輩の話は、とても貴重な内容です。一人一人のきこえは違うので、全部がどの人にも当てはまるとは言えませんが、「自分も同じ!」「そういう方法があるのか!」などと安心やヒントになることがあるようです。まさに「先達(せんだつ)はあらまほしきことなり」(徒然草)です。

今回は、通級卒業生とその保護者様からお話いただきました。保護者様からは、難聴が分かった時からの病院受診や聾学校などへの相談のこと、通級卒業生からは、学習内容の理解のきっかけ、周囲の話し声の聞き取りにくさやその対応、現在の様子などを話していただきました。お忙しい中でしたが「皆さんの参考になればうれしい」と、快くお話をしてくださいました。

参加された方からは、「きこえにくい場合のコミュニケーションについて参考になった」「会話をしたいのにききとることに精一杯になってしまい、疲れることはある」「よくききとれなくても何となくの雰囲気の中で合わせてしまうことは自分もある」などの感想がありました。学びの多いひとときでした。心から感謝申し上げます。

合唱コンクールなどへの取り組みについて

中学校では体育祭が終わると10月、11月に予定されている合唱コンクールの練習が始まる学校も多いと思います。小学校も学校によっては音楽発表があると思います。きこえにくさがある児童生徒がいる場合、本人の状態によって、次のような支援があるとありがたいです。他の児童生徒にとってもあると助かる支援です。

- ①歌、楽器演奏の出だしのタイミングが指揮などで分かるようにする。
- ②周囲の児童生徒から、アイコンタクトや身振りなどの合図を出してもらう。
- ③マスクを付けないのであれば、指揮者の口元が見える場所にいる。
- ④同じ楽器や役割の児童生徒が近くにいる。または本人から見える場所にいる。
- ⑤友達や先生から、ロジャーを使用して歌ってもらう。



☆全てこれと同じにする必要はありませんが、デリケートな部分でもあり、練習の様子を見たり、本人と相談したりして、一人一人のニーズや各学校の実情に合わせて支援をお願いいたします。リズムや音程、速度、声の大きさなどの調整が難しい生徒もいるので、本人がストレスにならないようにしていただけるとありがたいです。ご相談がありましたら当校へご連絡ください。

参照：「難聴をもつ小中高校生の学校生活で大切なこと」

(岡山大学病院 耳鼻咽喉科)*難聴通級生徒在籍の中学校は、配付した学校もあります。

↓下記より

<https://x.gd/MIFEu>



難聴のある高校生の進路について

難聴のある生徒が長岡地区ではほとんどの高校に在籍しています。在籍校の先生方、日頃のご指導をありがとうございます。

当校へここ数年、毎年難聴のある高校生の進路に関わる相談があります。それを受け、情報提供の必要性を感じ、お伝えすることといたしました。また令和6年4月より、公的機関だけでなく、事業所も合理的配慮の提供が義務となりました。必要な配慮を依頼できるよう、当校でも情報提供を行いたいと思います。



難聴のある高校生の進路については、次の例を参照され、必要に応じて当校へご相談をお願いいたします。

進 路 の 例	方 法 留 意 点 等
一般の大学、短大、専門学校等	各大学等の HP に記載のある、「障害のある学生」を対象とした、入試方法を参照。記載がない場合でも、各大学等へ入試方法を問い合わせる。
上記のうち、共通テストを利用	大学入試センターの「合理的配慮」の要項(各高校等へ配付または HP よりダウンロード)を参照。合理的配慮の申請メ切が早めなので、 <u>余裕をもって受診し、診断書を受け取る必要がある。R7年度用は 7 月上旬発表。手続きは R7.8.27(出願期間中に審査結果通知あり)または R7.10.1まで。</u>
筑波技術大学 (茨城県つくば市)	難聴のある生徒(高校卒も含む)が対象。診断書を作成する医師が「指定医師」である必要があるため、必要に応じてかかりつけ医からの紹介状の準備を依頼するなど、 <u>余裕をもって受診する必要がある。詳細は HP を参照。</u>
聾学校高等部専攻科	難聴のある生徒(高校卒も含む)が対象。 <u>設置の有無、学科等</u> は各校の HP を参照。
就職	募集や申し込みは、各校の進路指導のルールによる。身体障害者手帳を利用した就職は、当校進路指導部へ案内が来ることがある。身体障害者手帳のある高 2 生徒対象のインターンシップの案内(県外)が来こともある。
☆自動車運転免許取得について	詳細は近隣の自動車学校へ、 <u>時間的な余裕をもって確認してほしい。</u> 10m離れたところから90dB(窓を開けた地下鉄の音くらい)のクラクションの音が補聴器を装用して聞こえること等が自動車学校入校の条件。

☆進学、就職ともに、入ってからの配慮をお願いする必要があります。大学等であれば、「障害学生支援課」などの名称で、専門の窓口がある大学等が増えています。その窓口がなくて申請した結果、設立された大学等もあります。

☆R6 年 4 月より「合理的配慮の提供」が義務となりましたが、予算などの都合でお願いしたことが全部受け入れてもらえるとは限らず、話し合いが必要な場面も出てきます。また、予算が必要なものは入学や入社が決まった後 3 月中に申し込むとスムーズなようです。

☆いずれの場合も、「自分のきこえやお願いしたいことを自分で伝える。もし、依頼したことが難しい場合は代替案を話し合う、助けてもらったからお礼を言う。自分でできることを積極的に取り組む」のは同じです。

通級生徒在籍校の先生方へ

5 月から 7 月にかけて、在籍校訪問でお伺いさせていただき、ありがとうございました。授業の進め方やロジャーの使用など、学ぶ事が多く、先生方のご配慮に感謝申し上げます。10 月から 11 月をめどに、2 回目の在籍校訪問を計画しています。9 月中にご案内ができるように準備をいたします。ご多用中と思いますが、よろしくお願いいたします。

県立長岡聾学校

<相談窓口>

教頭 田邊 豊 Tel 0258-38-0191

<担当>通級指導教室、支援部

教諭 柳原範子 Tel 0258-38-0210

Mail:school@nagaokarou.nein.ed.jp